



全労連青年部ニュース

YOUTH TOPIC

つながる・たたかう・支えあう青年部を

ホームページ<http://www.zenroren.gr.jp/jp/seinen/>ブログ<http://blogs.yahoo.co.jp/zenrourenpower>

参院選で要求実現！選挙に行こう！！

いよいよ7月21日は参議院選挙の投票日です。今回のニュースでは、各地の青年の「選挙」に関するとりくみをご紹介します。青年が暮らしやすい社会を実現するため、みんなで選挙に行きましょう！

体育大会と選挙ミニ学習で体と頭の運動！ 長野県労連青年部

5月11日（土）、長野県労連青年部は松本市寿体育館にて青年部体育大会と選挙ミニ学習を開催しました。フラバールバレーとキンボールで体を動かしたあと、全労連青年部・八重田副部長を講師に「選挙に行こうキャンペーン」の一環として参加者15人で参議院選挙に向けて学習しました。

選挙ミニ学習会では、「そもそも国会とは法律や予算を決める国の機関で衆議院と参議院があり、国民にとって大事な議題を慎重に議論するため二院制がとられている」ことや「選挙とは国民が政治に参加する手段であり、民主主義の根幹。私たちが選挙で国民の声を届ける代表者を選び、選挙の結果が国を大きく変える」など基礎的なことから学習し、「なぜ選挙に行くことが大切なのか」を学び、考えました。また、どのような候補者や政党に投票したらいいのかわからない青年も多いので、まずは自分の不満や要求は何かを書き出してもらい、その不満や要求を叶えてくれる候補者や政党はどのような政党なのかを考えました。投票方法についてもレクチャーし、投票日当日に行けない場合でも期日前投票を行うことができること、投票証明書をもらえば割引があるお店などがあることを伝え、「選挙に行こう！」と呼びかけました。



学習会の最後では、選挙プラカードに自分たちの要求を掲げ、長野から元気に選挙の風を吹かせました！

岡山駅で選挙をテーマにトークセッションを開催！ 岡山県労会議青年部



6月30日（日）、岡山県労会議青年部は岡山民青とのコラボ企画として「選挙に行こうキャンペーン」にとりくみました。大平よしのぶさん（前衆議院議員）と住寄さとみさん（元教員）を招き、「選挙に行けば変えられるって本当なの！？」をテーマにトークセッションを開催。16人が参加しました。

コーディネートを務めたのは小田嶋美桜さん（岡山民青・委員長）で、今回の選挙の争点は何か、選挙に行くことで何がかわるのかをお二人に質問しました。

大平さんは「安倍首相は憲法改正が争点だというのが、大多数の国民は改憲を望んでいない。そもそも、首相をはじめ政治家、公務員は憲法順守義務を負っている。憲法を守る立場にある首相が憲法を変えたいということ自体が間違いだ」と指摘し、「国民が望むのは憲法が活かされた政治ではないだろうか。賃金や働き方、学費の問題など私たちの日常の不安を解消して欲しい。政治とは一人ひとりの暮らしを形づくるものだ」と政治と憲法の関係性を説明しました。

住寄さんは「政治に無関心でいることはできても無関係ではられない。政治を考えることは自分自身を考えることにつながる」と話し、「多くの人は自分の一票を無駄にしたいくないと思っているのではないだろうか。選挙制度にも問題があり、現在の小選挙区制度では死票が多数発生し多様な民意が政治に反映されにくい」と若者の政治離れを分析しました。

トークセッションを聴いていたペンネーム・タイ焼きさん(20代・女性)は、「長時間労働や低賃金によって心のゆとりがなくなっていると思う。心にゆとりを取り戻し、人にやさしく接することのできる社会にしてほしい」と、自身が選挙で実現したいことを語りました。



投票日までまだ時間はあります！ 全労連青年部「選挙に行こうキャンペーン」へご協力をお願いします！



各地から
続々と写真が
寄せられています！

選挙に行って政治を変えよう!

全労連青年部

「選挙に行こうキャンペーン」

要求前進のチャンスである選挙。労働者の切実な要求をSNSに、下のハッシュタグを付けて投稿してください。

「#選挙に行こう」 「#選挙に行ってきた」

「#私〇〇したい」 「#政治を身近に」

大規模に発信することで選挙に参加する雰囲気を広げることが目的です。

多くの仲間が選挙に参加してもらえるよう、協力をお願いします。

ハッシュタグとは？

同じキーワードが付いた投稿を検索、一覧表示できる機能。ハッシュマーク(#)の後にキーワードを付けて投稿すると検索の対象になる。通常の投稿よりも拡散効果が高い。

#選挙に行こう #私〇〇したい

「選挙に行こうキャンペーン」の写真は全労連青年部アドレス <youth@zenroren.gr.jp> まで!
※必ずSNSへの掲載の可否をお知らせください
※特定の候補者への投票を呼びかける内容にならないようご注意ください

参院選に向けて青年アンケート実施！ みえ労連・みえ青年連絡会

みえ労連とみえ青年連絡会は参議院選挙を前に「第2回 高校生・若者アンケート 若いあなたに、お聞きします」を実施しました。前回2016年6月にとりくんだアンケートでは、同年の参議院選挙から18歳以上から選挙権が行使できるようになったことを受け、県内の高校生や青年あてに、「選挙権行使をどのように考えているか」「青年の政治意識や身近な問題をどのように考えているのか」について尋ねました。前回選挙での18、19歳の三重県選挙区の投票率は50.12%で全国7位で、高い投票率になりました。

今回のアンケートは「青年たちの未来を自ら切り開く契機になれば」との願いが込められたとりくみで、実施期間は5月22日～6月21日までの一ヵ月間、高校生以上30歳未満を対象に実施しました。みえ労連組織の30歳未満の青年に配布するほか、高校生・短大生・大学生が通学する県内の主要駅・バス停・通学路の13ヵ所で、「受取人払いのハガキ」を、みえ労連組合員・青年120人が早朝に配布しました。回収結果は、高校生（19歳以下）から届いたハガキ（用紙）は74枚、短大生・大学生（20歳代前半）からは139枚、30歳未満青年からは106枚、無回答14枚でした。全体の配布数5,000枚のうち7月10日までに513枚（10.3%）の回答が返送されました。

設問は「消費税10%増税は賛成か反対か」「奨学金制度についてどう思うか」「原発再稼働は賛成か反対か」「憲法9条への自衛隊の明記は賛成か反対か」「ブラック企業・ブラックバイトを知っているか」「労働基準法が改正されたことについて知っているか」「最低賃金はいくらがいいと思うか」「女性天皇に賛成か反対か」の8問。

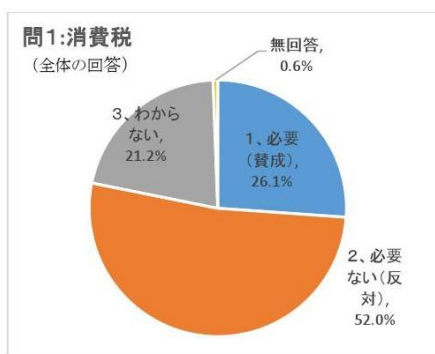
特徴として、消費税10%増税について「全体では反対が52.0%、賛成が26.1%だったが、社会人（非正規）の回答では約70.5%が反対」と回答したこと、最賃はいくらがいいかという設問では「高校生、大学生、社会人（正規）の多くは『時給1,000円に』と回答したが、社会人（非正規）では半数以上が『時給1,500円に』と回答したことなどが挙げられ、青年の間にも分断が生まれていると分析しています。青年層の世論づくりが急ぎ必要だと改めて認識させられるとりくみとなりました。

■消費税の10%引き上げは、「必要ない（反対）」が52.0%と増税に反対

問1 消費税が10%に引き上げられようとしています。

全体の回答 n=513		
1、必要（賛成）	134	26.1%
2、必要ない（反対）	267	52.0%
3、わからない	109	21.2%
無回答	3	0.6%

社会人（非正規）の回答 n=44		
1、必要（賛成）	3	6.8%
2、必要ない（反対）	31	70.5%
3、わからない	10	22.7%
無回答	0	0.0%



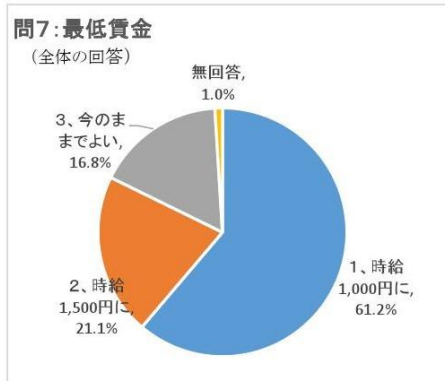
◀消費税の10%引き上げは、「必要ない（反対）」が52.0%と、半数以上が10%増税に反対と答えました。「必要（賛成）」は26.1%でした。「必要ない（反対）」が50%を下回ったのは、「大学生」49.1%のみであり、「社会人（非正規）」は70.5%が反対しています。

■最低賃金は8割が、時給1,000円以上に

問7 最低賃金はいくらがいいと思いますか？（三重県最賃・時給846円）

全体の回答 n=513		
1、時給1,000円に	314	61.2%
2、時給1,500円に	108	21.1%
3、今のままでよい	86	16.8%
無回答	5	1.0%

社会人（非正規）の回答 n=44		
1、時給1,000円に	15	34.1%
2、時給1,500円に	22	50.0%
3、今のままでよい	5	11.4%
無回答	2	4.5%



◀最低賃金についての要望は、「時給1,000円以上に」が61.2%、「時給1,500円以上に」21.1%となり、合計で時給1,000円以上を8割以上が望んでいるといえます。「社会人（非正規）」では50.0%が1,500円以上を望んでおり、青年層でも分断が垣間見えます。

出典：みえ労連提供「青年アンケート集計」「青年アンケートまとめ」より

全労連青年部 今後のとりくみ

- ★ 全労連青年部第32回定期大会 9月28日～29日（予定） 於全労連会館
- ★ Ring! Link! Zero2019 in Nagasaki 8月7日18:30～20:00 於長崎市民会館体育館
- ★ 原水禁大会長崎大会第9分科会青年のひろば 8月8日9:00～15:00 於長崎市民会館体育館